

IFLA/PAC FAQ

Paper conservation by using Japanese paper, washi

和紙を使った紙資料の修復（日本語訳）

Q1. 和紙（Japanese paper）とは何ですか？

A1. 楮、三桮、雁皮などの靱皮繊維を原料とする紙を和紙と言います。もっとも多く使用される繊維は楮です。伝統的な製法は、これらの繊維を木灰、ソーダ灰などのマイルドなアルカリ剤で煮て、リグニンなどの不純物をよく取り除き、トロロアオイなどから取れる粘剤を使って繊維を水中に分散させ、流し漉きで手漉きされます。苛性ソーダなどの強力なアルカリ剤や漂白剤などの化学的な薬品は添加されません。和紙は日本では1000年以上にわたり製作され使われてきた歴史があり、日本の手漉き和紙技術（石州半紙、本美濃紙、細川紙）が2014年にユネスコ無形文化遺産に登録されています。

和紙には手漉きと機械漉きがあり、薬品を使用して原料処理を行っているもの、海外産の楮や木材パルプを混入したものなども和紙と呼ばれており、和紙の定義は明確ではありません。

Q2. なぜ和紙を資料の修復に使うのですか？

A2. 伝統的な製法と材料で作られた和紙は、不純物が少なく、pHが中性～アルカリ性であり、劣化しにくく、長期の保存に適しています。また繊維が楮で1センチ程度と長く、ゆえにしなやかで強度があり、貼り付けた時に資料とのなじみが良いのが特徴です。非常に薄い和紙では透明性もあり、文字の上から補修しても判読を妨げません。またデンプン糊を使用して和紙を資料に貼ることにより、水分を与えると和紙を綺麗に剥がすことができ、資料を補修前の状態に戻せるという利点があります。また、様々な種類・厚さがあり、資料や補修の作業によって使い分けができる点も適しています。

Q3. 資料の修復には、どのような和紙を使用しますか？

A3. 和紙は、製法・材料により、品質や性質が異なるため、まずは製法、材料について把握します。その上で、対象資料に適した和紙（品質、柔軟性、厚さ、色、風合い等）を選択します。（A9、A10で紹介している記事1～3も参照）

Q4. 和紙はどこで作られているのですか？

A4. 小規模な工房で手漉きされるものから、大規模な工場で機械漉きされるものまでさまざまあります。日本各地に60以上の和紙の産地があり、和紙が作られています。

Q5. 和紙にはどんな種類がありますか？

A5. 石州紙、薄美濃紙、細川紙など、産地の名称がついていることが多いです。材料、製法、

厚さによって様々な種類があります。

極薄のものは典具帖紙と呼ばれます。大きさは産地で様々で、60センチ×90センチが一番標準的な判型です。機械漉きのロール状のものもあります。和紙の厚みは、伝統的には日本の重量単位「匁」であらわされ、1匁は3.75グラムです。最近では和紙の1平方メートルあたりのグラム表記も多くなっています。

Q6. 和紙を使った資料の修復にはどのような方法がありますか？

A6. ①破れた箇所を和紙を貼って繕う、②欠けた資料の部分に似た厚さの和紙を同じ形に成形して貼って補う、③和紙をヒンジとして使って外れたページや表紙を直す、④裏から和紙を一枚貼る裏打ちを行って強度を増す、⑤和紙の原料を使ったりーフキャストイング、などがあります。

Q7. 和紙はどんな資料の修復に適していますか？

A7. 資料の状態にもよりますが、従来の図書館資料の多くは和紙で対応できます。紙が基材の資料はもちろん、布貼りの表紙の本の布の部分や、革装本の革の部分の補修など、紙以外の素材の補修にも和紙を用いることがあります。彩色や印刷が施されている面であっても、たとえば典具帖紙のような薄手で透明性の高い和紙を使って表面から補修できる場合や、劣化が著しい場合でも裏面あるいは表面からの補強ができる場合もあります。和紙は図書館資料の修復の現場で多種多様に使用されています。

Q8. 和紙を使った修復は専門家（コンサバター）でなくてもできますか？

A8. 国立国会図書館では、図書館員を対象に軽微な修復の研修をしています。（A10 のテキスト・動画参照）

修復をする際は、以下の点に留意してください。

- 材料・製法が明確な和紙を使用する。
- 資料に適した種類と厚みを選ぶ。（より詳しい情報は A10. 1～3 の記事参照。）
- 接着剤はデンプン糊が望ましい。
- 適切な濃さと量の糊を使う。
- 補修した箇所は重石等を使ってよく乾かした後、次の工程に進む。

貴重な資料、劣化・破損の激しい資料、取り扱いに技術を要する資料の修復については、専門家に相談することをお勧めします。

Q9. 和紙はどこで入手できますか？

A9. 近年は日本国内の業者以外にも日本の和紙を取り扱う海外の業者（supplier）が多く登場しており、インターネットを経由しての購入が可能となってきている。和紙は製法や原材料の違いにより多種多様な種類があることから、保存修復関係で信頼と実績のあ

る業者からの取り寄せが望ましいと考えられる。修復対象と用途にあわせて、和紙の原料やその産地、漉き方（手漉きか機械漉きか）、厚さ、色味、風合いなどを鑑みて、望ましいものを選択する。見本帳（sample set）を作成している業者であれば見本帳を取り寄せ、照らし合わせながらの購入が良い。

Q10. 和紙や和紙を使った資料の修復について、より詳しい情報はありますか？

A10.

※ 海外の図書館員向けに作成した資料のため、紹介している参考情報は英語のウェブサイト等です。日本語版があるものにかぎり、日本語版を追記しています。また、末尾に日本語の参考ウェブサイト・図書の情報を若干追記しています。

和紙について、もっと知るための情報

- “Japanese paper in action!: Conservation treatment using *Washi* (1)”. *National Diet Library Newsletter*. No.203, December 2015.
http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_11045360_po_NDL-Newsletter203_20306.pdf?contentNo=1&alternativeNo=
- “Japanese paper in action!: Conservation treatment using *Washi* (2)”. *National Diet Library Newsletter*. No.204, February 2016.
https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_11335026_po_NDL-Newsletter204_20407.pdf?contentNo=1&alternativeNo=
(日)「和紙、大活躍！！図書館資料を和紙で直す」 『国立国会図書館月報』No.203, 2015年10月
https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_9497605_po_geppo1510.pdf?contentNo=1&alternativeNo=
- Mizumura, Kubo and Moriki. “Japanese paper: History, development and use in Western paper conservation,” in *Adapt & Evolve 2015. East Asian Materials and Techniques in Western Conservation. Proceedings from the International Conference of the Icon Book & Paper Group, London 8-10 April 2015*, 43-59.
https://icon.org.uk/system/files/public/Publications/AandE15/4-ae15_mizumura_43-59.pdf
“Book & Paper” group, Institute of Conservation (ICON) (UK)のウェブサイトには、この会議の発表ペーパーや和紙についてのその他の情報も掲載されています。
<https://icon.org.uk/groups/book-paper>
- Masuda. “World-wide Spread of Conservation Using Japanese Paper,” in ICA International Congress 2016, Seoul 5-10 September 2016.
http://www.archives.go.jp/english/news/pdf/ica2016_04.pdf

和紙を使った修復についてもっと知るための情報

- Conservation of Paper Materials: Minor Repair, National Diet Library
<http://www.ndl.go.jp/en/preservation/manual/index.html>
国立国会図書館では、図書館資料の簡易補修研修のテキストとビデオを日本語と英語で提供しています。
(日) 動画で見る資料保存：簡易補修 (国立国会図書館)
<https://www.ndl.go.jp/jp/library/training/remote/minorrepair.html>

- AIC conservation WIKI “Book & Paper“ group, AIC American Institute of Conservation(US)
https://www.conservation-wiki.com/wiki/Book_%26_Paper

- “Book & Paper” group, Institute of Conservation (ICON) (UK).
<https://icon.org.uk/groups/book-paper>

- ICCROM International Centre for the Study of the Preservation and Restoration of Cultural Property (Italy). “Japanese Paper Conservation”
<https://www.iccrom.org/>

- Tokyo National Research Institute for Cultural Properties (TNRICP) (Japan). Japan Center for International Cooperation in Conservation
<http://www.tobunken.go.jp/~kokusen/en/index.html>
ICCROM（文化財保存修復研究国際センター）と東京文化財研究所の共催で、1992年から毎年、国際研修「紙の保存と修復」を開催しています。

(日本語版追記)

ウェブサイト

- 全国手漉き和紙連合会ウェブサイト <http://www.tesukiwashi.jp/>
- 和紙文化研究会ウェブサイト>リンク集
<http://washiken.sakura.ne.jp/%e3%83%aa%e3%83%b3%e3%82%af%e9%a0%81/>

図書

- 『和紙の手帖：和紙の歴史・製法・用途・産地のすべて 改訂版』全国手すき和紙連合会, 2014.7
- 『和紙の手帖2（産地の状況・和紙の本質から用途まで）』全国手すき和紙連合会, 1996.7